

みんなで語り、伝えよう！ 住吉川物語

住吉川散策マップ

六甲山の自然と 歴史ロマンを探そう！

六甲山の自然を楽しみながら、六甲山の不思議に触れ、素晴らしさを知り、安全について考えてみよう！



散策マップについて

このマップは防災学習ゾーン「住吉川物語」のモデル散策マップです。裏面で各散策ポイントに関する情報を紹介しています。

より詳しい情報を掲載した冊子や他の散策マップ、散策しながら学習できるサブノートなどの入手先は、六甲砂防事務所HPをご覧ください。



守って欲しいこと
家族など大人と一緒に山に登りましょう！
登山する時の服装と準備するもの

1. 服装
動きやすい服装で、はきなれた運動靴や登山靴をはきましょう！

2. 準備するもの
○リュックサック
○地図（必需品）
○雨具（カッパ）
○おむすびやパンなどの食料
○あめやチョコレートなどの行動食
○方位磁針（コンパス）
○筆記用具
○カメラ ……など

3. 注意すること
○山で火を使わない！
○ゴミは持ち帰る！
○動物にえさをやらない！
○とっていいのは写真だけ、草花などは採取しないで観察しましょう！
○マムシ、ヤマカガシ、スズメバチなどに会ったら要注意！



水車小屋跡
住吉川の急な流れは、水車を回す大きな力を生みだし、かつて、多くの水車小屋があったそうです。



清流の道
住吉川の流れや自然に触れられる遊歩道として市民に親しまれています。休憩ポイントとして、途中に、清流の道公園があります。



くるくるバス
JR住吉駅から住吉台の間を約15分間隔（7:00～20:00）にて運行されています。
※200円



マップの見方

【見学ポイント】

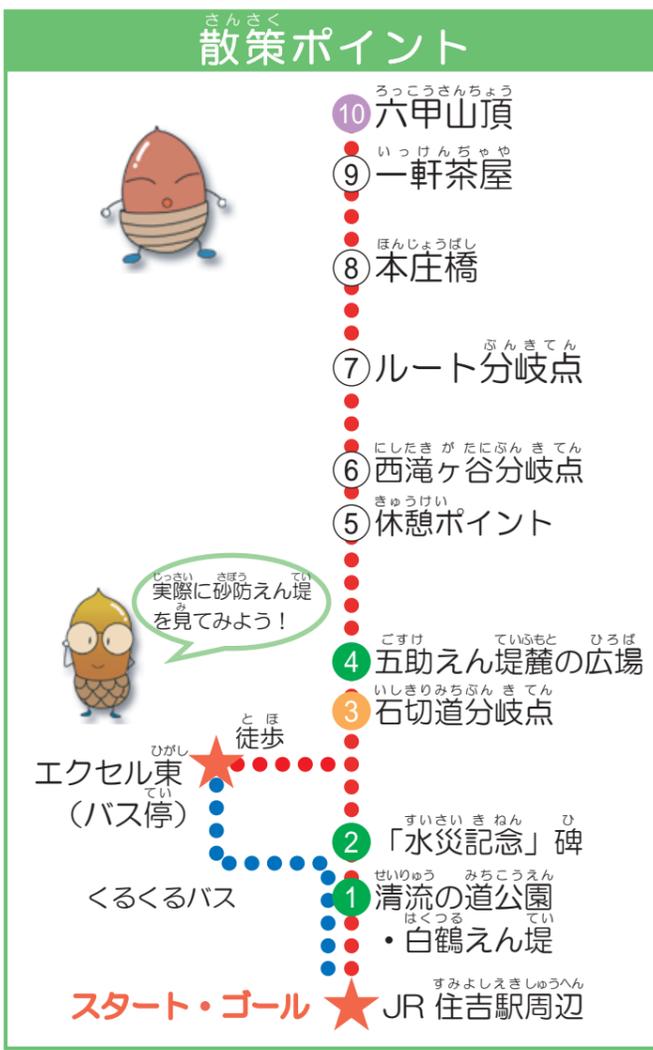
- 「不思議」に触れる見学ポイント
- 「素晴らしさ」を知る見学ポイント
- 「安全」を考える見学ポイント
- 上記3つのうち2つ以上共通する見学ポイント

【移動手段】

●●● 徒歩（分：矢印間の移動時間の目安）

【その他】 □ 駅 — 鉄道 i バス停

● トイレ ⊗ 学校



【問合わせ先】
国土交通省 六甲砂防事務所
住所：〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
電話：078-851-0535
ホームページ：http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/

ろっこうさん しぜん れきし さが 六甲山の自然と歴史ロマンを探そう！ (ポイントの紹介)

○実際に見学した箇所の口印にチェックをしよう！
○口印横の数字は「冊子」の関連ページです。

清流の道公園・白鶴えん堤 □52～65P

土砂災害から私たちの街を守る砂防施設の代表例は砂防えん堤ですが、六甲山地には約527基（平成25年（2013年）現在）もあります。こうした直轄砂防事業50周年を記念したモニュメントが「清流の道公園」にあります。



六甲山系の砂防事業は明治から始まって
いたんだ！

五助えん堤麓の広場 □52～65P

春には、花見広場としても利用されています。この先に見える五助えん堤は、六甲山地で最も大きく、高さが30mもあります。



五助えん堤麓の広場
五助えん堤
春には、花見広場としても利用されています。
この先に見える五助えん堤は、六甲山地で最も大きく、
高さが30mもあります。

砂防えん堤の仕組みって知ってる？

「水災記念」碑 □43～46P

私たちの街では、何度も土砂災害が発生しています。中でも、昭和13年（1938年）の阪神大水害は大きな被害をもたらしました。この災害を忘れないために、阪神大水害時の洪水位を確認できる碑があります。



石切道分岐点 □5,33P

六甲山から御影石を運んだ道とされる石切道が残っています。この石切道や住吉道を歩くと、御影石がゴロゴロと転がっています。



大坂城の築城にも使われたんだよ！

本庄橋跡・一軒茶屋 □29P

本庄橋は、魚屋道が住吉川の上流を渡るところに架けられた石橋で、その跡が残っています。心臓破りの石階段を登っていくと茶屋があります。頂上まであと僅かです。



石橋の跡
一軒茶屋
どうして魚屋道って呼ばれたの？

六甲山最高峰 □3P

実は、六甲山の山頂は2つあります。戦時中、最高峰周辺は軍用地として使われていたため、一般の人は立ち入ることができず、実際の最高峰から南にある小高い丘を、六甲山最高峰としていたそうです。



現六甲山最高峰の標柱
旧六甲山最高峰の標柱
六甲山の山頂ってどこか知ってる？

六甲の植物

六甲山地では、1年を通じて四季折々の植物が見られます。

春には、ヤマザクラ、コバノミツバツツジ、アセビなど



初夏には、ヤマツツジ、コアジサイ、ベニドウダンなど



夏には、クサアジサイ、イワタバコ、アカショウマなど



秋にはリンドウ、アキノキリンソウ、ノコンギクなど



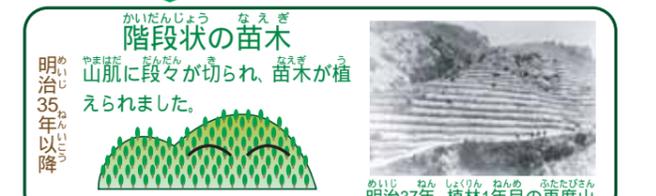
六甲の生き物

六甲周辺では、様々な生き物が見られます。



六甲山地の緑の歴史

六甲山地は、神戸港が開港した約130年前は、白い岩肌が露出し、荒れ果てた山だったといわれています。現在の緑あふれる六甲山は、100年前から先人たちの手によって、1本1本植えられ、自然にはぐくまれた木々によって再生したものです。



でも、六甲の緑は回復途上

砂防えん堤の役割

砂防えん堤は、恐ろしい土石流をせき止めて、私たちの住む街を守っています。

